

# 7月の行事予定

- 2日(金) 避難訓練
- 9日(金) 誕生会

# 8月の行事予定

- 18日(水) 避難訓練
- 27日(金) 誕生会
- そらキャンプ説明会

園だより NO. 431号

# くまのこだより

令和3(2021)年7月1日(木)発行  
さくらが丘保育園



## 『こどもの“？”に寄り添って』

昨年度に引き続きそら組(5歳児)の担任となり、新しいそら組のこどもたちと一緒に、新たな気持ちで日々過ごしています。

先日、みんなで給食を食べていた時のこと。Aさんが「お米って何からできとんじゃろう・・・」とポツリ。それを聞いた周りの子は「木じゃない?」「ちがうよ、おもちよ。ぺったんしたやつを小さくちぎっとんよ」と予想を始めました。私は次々に出てくる斬新な考えに思わず笑いそうになりながらも、しばらくそのやりとりを見守っていました。しかし給食の時間が終わっても“これだ!”とみんなが納得できる答えには辿り着かなかった。そこで、「お米の絵本ってないのかな?」と少しヒントを出してみました。すると、お米に関係ありそうな絵本を次々に持ってくるこどもたち。その中の一冊に“もみ”という種が稲になって、その稲から米がとれることが載っており、「そうだったんかあ」「最初は種だったんじゃな」とみんなで納得。Aさん1人の“?”が、みんなの“?”に広がり、新しい発見につながった瞬間でした。

私たち大人にとっては当たり前のことでも、こどもたちが見ている世界には、“これってなに?どうして?”と不思議なことが溢れています。そんな1つひとつの“?”に寄り添い、こどもたちが自分の力で知ろうとする姿を見守りながら、分かるまでの過程も楽しみ、新しい発見と一緒に喜べる保育者でありたいです。

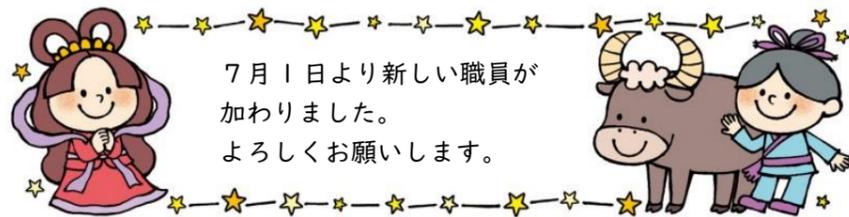
河田 美波

## 夏期保育が始まります

7月12日(月)～8月31日(火)

平常通り保育をいたしますが職員の法定労働時間に伴う休暇や各種研修等で他のクラスの職員が応援に入ることがあります。ご都合のつき次第、早めのお迎えや家庭保育のご協力をお願いします。尚、8月14日(土)と8月28日(土)の土曜保育は都合により弁当の持参をお願いします。

## 新しい職員の紹介



7月1日より新しい職員が加わりました。よろしくお願いします。



## 丘の上知恵袋

箸はいつ頃から始めたらいですか?



A. お箸で豆やスポンジなどをつまんで遊ぶことから始めても楽しいかもしれませんね。

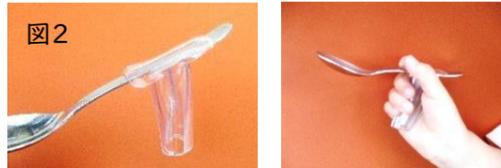
A. スプーンを3本の指でしっかりと持てるようになってから始めませんか?園ではこどもたちにわかりやすいように「バキューン持ち」(=「3本の指で持つ」)してみよう」と投げかけています。3本持ちを安定させるために、手作りの補助具を紹介します。

- ①直径1.5cm程度のホースを12cmの長さに切ります。
- ②図1のように切り込みを入れます。
- ③図2のようにスプーンに装着します。

図1



図2



◎わかりにくい場合は、くじらぐみまでお尋ねください。  
3本の指でスプーンを持つということは、箸や鉛筆の操作につながるの、時間をかけて丁寧に伝えていきましょう。



住所 赤磐市桜が丘東6-6-704  
 電話 (086)995-0104  
 IP電話 050-3494-4820  
 FAX (086)995-0164



## はなぐみ

園での生活に慣れ始め、食事の面でも自ら口を開けて、食べ始めました。その後も野菜をパクパクと食べ、日に日に食べる量が増えてきている気がします。初めて見る・食べる食材も多いこの時期。味や食感などを保育者が言葉で伝えながら食べる喜びを共有していきたいです。

“食べること”は生きる活力です。食べることが好きだと、自然と元気が出ますよね。



## ゆきぐみ

斜面台遊びをしていた時のこと。自分より前を登る友だちを、お尻付近に手を差し出していました。まるで、うしろから落ちないようにフォローしているようでした。

さりげない感じに、気遣いが垣間見えます。小さいころから、見てきた・感じてきた人とのつながりや関りが自然とできていくのでしょうね。



## にしぐみ

午睡後保育者が布団を片付けていると、布団の下に敷いているごぎを保育者がなにも言わなくても片付けはじめました。保育者を手伝っているかのようなこどもたちの行動に、優しさを感じました。

普段の生活で見る身近な大人の姿を模倣しているこどもたちですが、大人が「ありがとう」と喜ぶことで、相手の気持ちを感じ取ることを学びます。

## つきぐみ

にじ組の子が泣いていることに気づいたつき組の子が、「どうしたの？」と手をつなぎ、声をかけていました。泣きながらも何か指さして訴える姿を「あれがほしかったん？」と聞き、隣で遊び始めました。すると、にじ組の子は泣き止み、笑顔で一緒に遊んでいました。

自分がしてもらったことを、自分も誰かにしたい。やさしい記憶が数珠つなぎで、どんどん膨らんでいってほしいと願っています。



## ほしぐみ

4月に1人1つずつポットに種をまいたトウモロコシが大きくなってきたので畑に植替えをしました。植えてすぐに「お腹空いたなあ。早く食べたいなあ」と話していたAさん。その日の給食にコーンサラダが出ると「え？もうトウモロコシできたん？」と不思議そうにしていますが1粒も残すことなくきれいに完食していました。

ここで経験したことが、生活や遊びの中のどこかにつながっていると、想像したり結び付いたり。大人が思い付きやうのない、こどもたちの発想が楽しいですね。



## そらぐみ

「片付けるよ」と声をかけるとすぐに片付け始めたBさん。近くにいた友だちに「片付けるよ」と優しく声を掛け、その時使っていなかった砂場の道具も一緒に片付けていました。自分で片付けるだけでなく、周りの友だちにも伝えていたことが素敵だと思いました。

「みんなの物は、みんなで片付ける」という協働することの意識が芽生えてきています。「みんなで片付けるべき」ではなく、「自分で使ったものは自分で」ということもあります。その時その時で、それぞれが判断して行動できるようになってくのが5歳児です。

# こーいね